

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			各部屋により身体を動かす部屋、活動を行う部屋勉強をする部屋と役割を持たせ場所の提供を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	4		利用定員に対する職員配置に考慮した配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	1	現在肢体不自由の利用者がいない為、整えられていないが今後利用がある場合、早急に対応を予定している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3		業務内容・支援活動を企画→実行→振り返り→修正を行い、よりよい支援につなげられるよう職員全員で行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		保護者からの意見を取り入れ周知不足の所は再度案内にてお知らせし、改善点に着いても改善できるよう対応を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	4		ホームページに掲載を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3		県による実地指導により定期提に改善・確認を行っているが個別による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	3		法人内で研修検討委員会を設けており、事業所内で研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			チームで支援に参加できるよう、事業所全員でアセスメントを行い適切な支援が行えるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			利用者のレベルに合わせた支援を行えるよう現在の状況を知るすべとしてツールを作成し使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			前月中に打ち合わせを行い職員の担当活動、必要資材、人員配置を確認し安全考慮した活動の立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		活動プログラムを職員を変え担当を作る事で様々な支援を行えるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2		事前に1日のスケジュールを提示し視覚的支援により当日の流れを伝え、利用時間により無理のない内容で支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		利用者のレベルに関係なく集団で行える内容を考え、参加を促し個別支援ではアセスメントを考慮した支援を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		当日の流れを打ち合わせにて確認をし前日に起こった事等を含め注意点の確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			終礼では当日の支援の確認と気づいた点の申し送りを行っている。また、支援計画の内容内容についても現状の確認も行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		行動観察にて当日の様子を記入し、気づいた点を改善する支援についても確認を行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	新規利用者は1か月毎、その他利用時に関しても6か月毎に事業所内で話し合いを行い現状の支援と到達状況の確認を行い適切な支援が行えるよう見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	2	ガイドラインを研修内に取り入れ基本的支援について理解してもらったうえで支援活動を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	児童発達管理責任者が中心となり利用者の担当者に聞き取りを行い、現状と今後を見据えた状況を把握している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	3	事前に月間予定にて予定を把握し、急な予定の変更にも対応を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	2	現在利用者で医療的ケアの必要な方がいない為、連絡体制の事前準備はあるが行われていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	進入学で入所する利用者がある場合、児童発達支援事業所で行っていた支援や現状について話し合いを行い情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		7	事業所内に障害福祉サービスへの移行者がまだいない為、情報共有の準備はあるが行われていない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	研修を行ってもらえる場合、積極的に参加をさせて頂いている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	放課後児童クラブの方と話し合いの場を設け共同で行える時間や活動の確認は行っているが、時間が合わず行っていない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	1	自立支援協議会へ参加し、情報や方針などを確認をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	1	保護者への引き渡し時にその日の事を伝え出来ること、出来ないことの共通理解を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	保護者から相談があった場合や市からの情報として講習がある場合は伝えているが事業所として講習などは行っていない。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	4	利用時に説明を行い内容に変更があった場合は理解を貰えるよう説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	悩みなどあった場合その場で話せる内容は助言をし、自分一人では対応できない場合は事業所にて上司に相談している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	父母会等の開催は行っていない。情報共有、連携は職員を通して行い案内にて書面や引き渡し時の話にて伝えている。	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2		体制の設備を行い苦情があった場合迅速に対応し事実確認を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	4		会報では行っていないが、事前に案内や行事詳細にて行われる活動についてお知らせを行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	3		個人情報取り扱いについて事業所内研修を行っており、十分注意を払っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	3		絵カードやマカントサイン等を使い意思の疎通に関しても配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	1	直接的なかかわりは持たないが、周辺のそうじ・ゴミ拾いなどを行い地域奉仕を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		それぞれチャートを用いた対応マニュアルを作成し防災訓練・を行う事で職員・利用者に理解を求める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	3		毎月簡易訓練・6か月ごとに総合訓練を行い発生に備えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3		6か月ごとに虐待防止研修を事業所で開き虐待の防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3		虐待防止マニュアルに基づき対応や書面にて残す内容の確認を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4		入所時に食物アレルギーの有無を確認し、4月に緊急連絡票の更新内容に新たなアレルギーの確認も取り入れている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3		ヒヤリハットがあった場合終礼にて共通確認をし、事例集を作成して再発防止に努めるよう指導している。

児童デイSES藤枝きた校